

2020年3月30日

報道関係者各位

株式会社電算システム
(東証第一部/名証第一部:3630)**スマホアプリ決済サービス「au PAY(請求書支払い)」サービスの取扱い開始**

～払込票読込スマホアプリ決済サービスとの連携が業界最多を更新～

株式会社電算システム(岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO 田中靖哲、以下「電算システム」)は、コンビニ収納代行サービスにおいて、KDDI株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 高橋 誠 以下「KDDI」)と「au PAY(請求書支払い)」の取り扱いを2020年5月下旬より開始※1いたします。

今回、KDDIとの連携により、電算システムのコンビニ収納代行サービスをご利用いただいている全ての公共団体および一般企業向け、「au PAY(請求書支払い)」をコンビニ収納代行サービスの特約として提供してまいります。既存の事業者様は追加料金の発生や従来の運用フローを変えることなく、特約の追加をお申込みいただくことでご利用が可能となります。

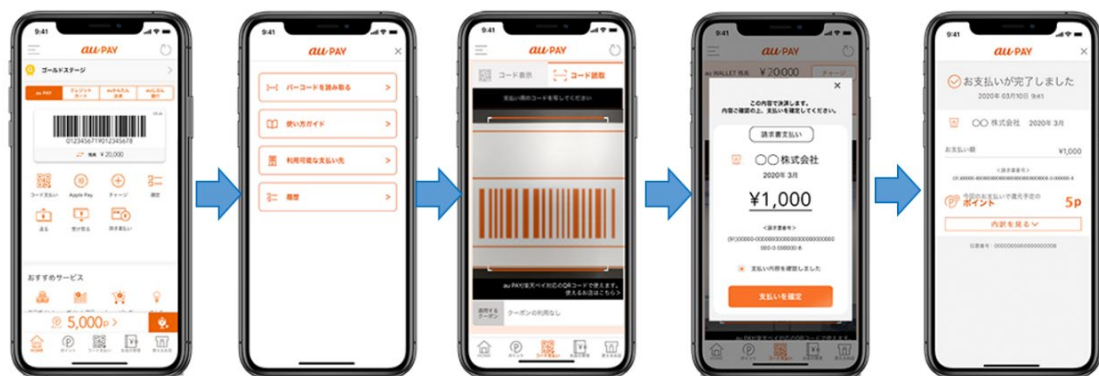
「au PAY」会員数は2,200万超を突破し、すでに多くのユーザーにご利用いただいています。なお「au PAY(請求書支払い)」の詳細については、

(<https://wallet.auone.jp/contents/lp/billpayment/index.html>)をご参照ください。

電算システムは、これまでも「PayB」、「LINE Pay 請求書支払い」、「楽天銀行コンビニ支払サービス(アプリで払込票支払)」、「さるぼぼコイン」、「銀行 Pay(ゆうちょ Pay、はま Pay、YOKA!Pay)」、「PayPay 請求書払い」など、払込票を利用したスマホアプリ決済サービスとの連携を積極的に展開してきており、本件によりスマホアプリ決済サービスの導入は9つ目となります。この数は業界最多の提供数であり、今後もコンビニ収納代行サービスのパイオニアとして、払込票を利用した決済方法をより便利な決済サービスにバージョンアップして、提供してまいります。

※1 サービスの申し込み受付開始は4月中旬頃を予定しております。

■ 「au PAY(請求書支払い)」の利用方法



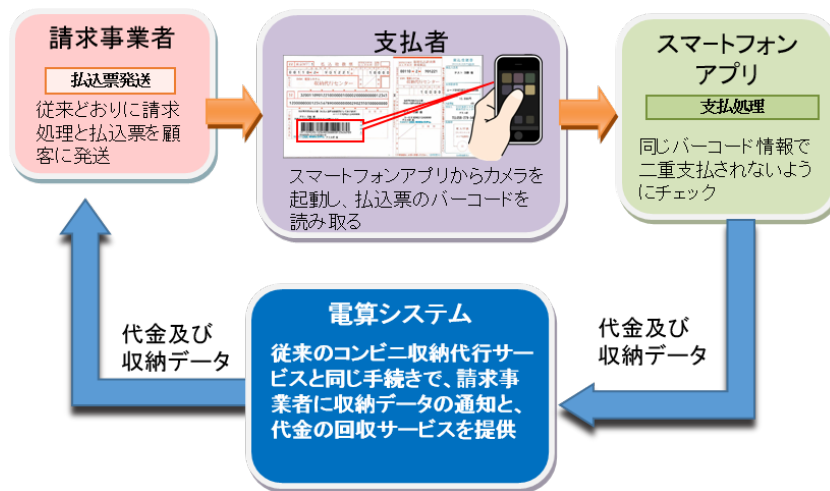
① au PAYアプリを起動。「請求書支払い」をタップします。

② 「バーコードを読み取る」をタップし、払込票のバーコードを読み取ります。

③ au PAY残高で決済。金額を確認し、「支払いを確定」をタップします。

④ 決済完了。履歴は「請求書支払い画面」の「履歴」で確認できます。

<払込票を利用したアプリ決済サービス概要図>



■電算システムについて

電算システムは1967年（昭和42年）に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年（平成9年）に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始して以来、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心としたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については電算システムのホームページ（<https://www.densan-s.co.jp/>）をご覧ください。

本リリースに関する問い合わせ先

<報道関係者様からのお問合せ先>

株式会社電算システム
総務部 後藤
電話：058-279-3456

E-mail: kikaku@po.densan-s.co.jp

<製品・サービスに関するお問合せ先>

株式会社電算システム
決済サービス事業部
電話：058-279-3482

E-mail: ec-tokyo@densan-s.co.jp